



栃木県公共事業再評価 概要書

【県土整備部 道路事業】

事業名	快適で安全な道づくり事業
事業箇所	一般国道400号 大田原市 <small>すえひろ</small> 末広 ~ <small>ちゅうおう</small> 中央 新富町 L=800m
事業主体	栃木県
事業担当課	県土整備部 道路整備課

事業の概要

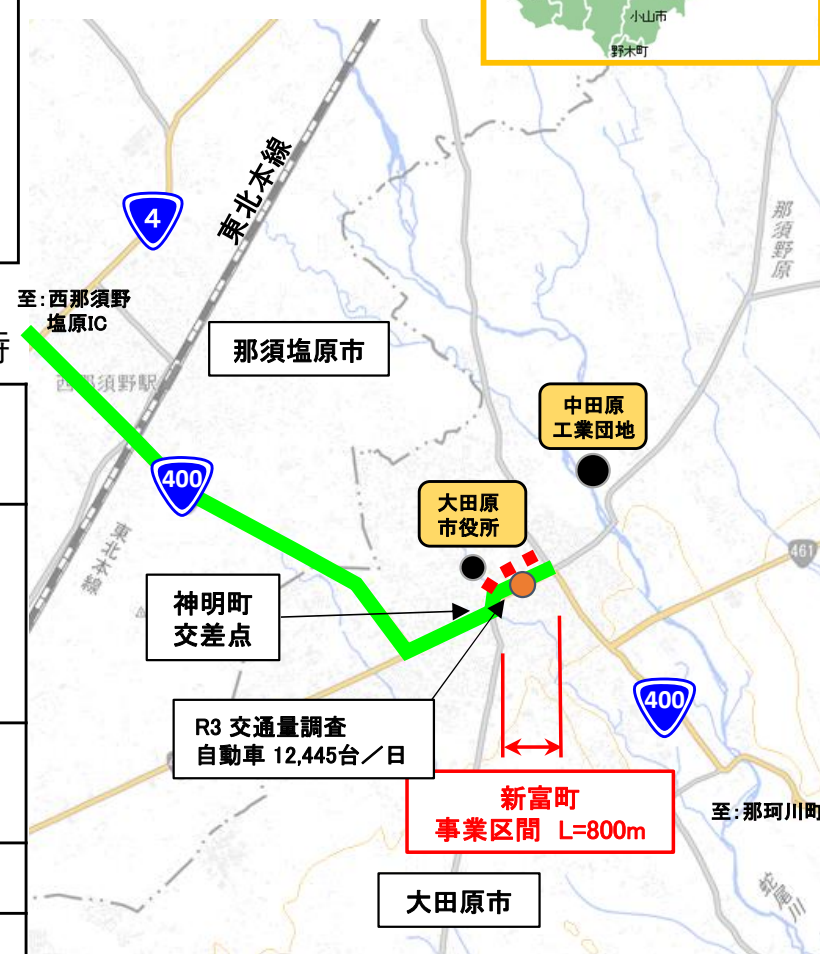
【目的】

国道400号は、茨城県水戸市を起点とし、大田原市を經由して福島県西会津町に至る広域道路であり、事業区間は平常時・災害時を問わず安定的な輸送の確保する重要物流道路に指定されるなど地域の産業や生活を支える重要な道路である。

しかしながら、事業区間においては、沿道に商店や住宅等が多い市の中心部に位置し、歩行者・自転車の通行が多いにもかかわらず歩道等が未整備であるほか、県道大田原氏家線が交差する神明町交差点には右折車線がなく、朝夕を中心に交通渋滞が発生している。

本事業により、安全で円滑な通行を確保し、広域的な交流・連携の促進と県土の防災力強化を図るものである。

【事業概要図】



【事業概要】

※ () は前回評価時

目標事業期間	(令和2年度～令和9年度) 令和2年度～令和13年度
事業経過	令和元年度 新規事業評価 (前回) 令和2年度 用地調査・用地取得等に着手 令和4年度 工事着手 令和6年度 再評価 (今回)
全体事業費	(25.0 億円 [うち用地補償費 15.0億円]) 32.0 億円 [うち用地補償費 17.5億円]
事業延長	L = 800m [うち整備済み L = 0m]
進捗率	基準年次：【令和6年度末時点】 費用 進捗率 既投資事業費 8.1億円 25% [うち用地補償費 5.5億円 31%]

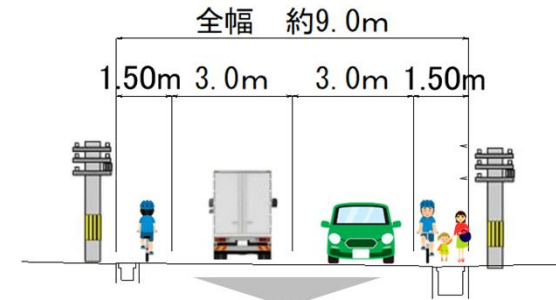
【凡例】
- - - - - : 整備区間
————— : 重要物流道路

事業の概要

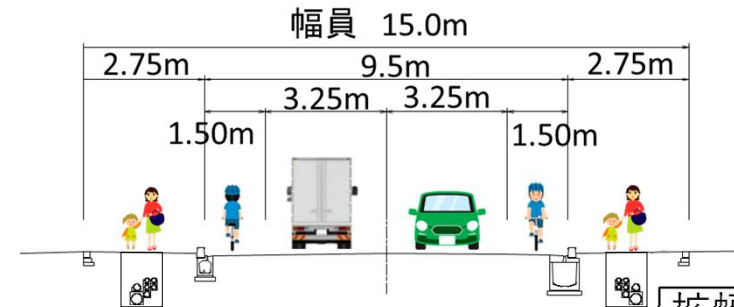
【事業内容】

事業延長	800m
標準幅員	15.0m ※横断構成は標準横断図のとおり
道路区分	第4種第1級
車線数	2車線
計画交通量	14,800台/日 (R22推計値)

■標準横断図 現況

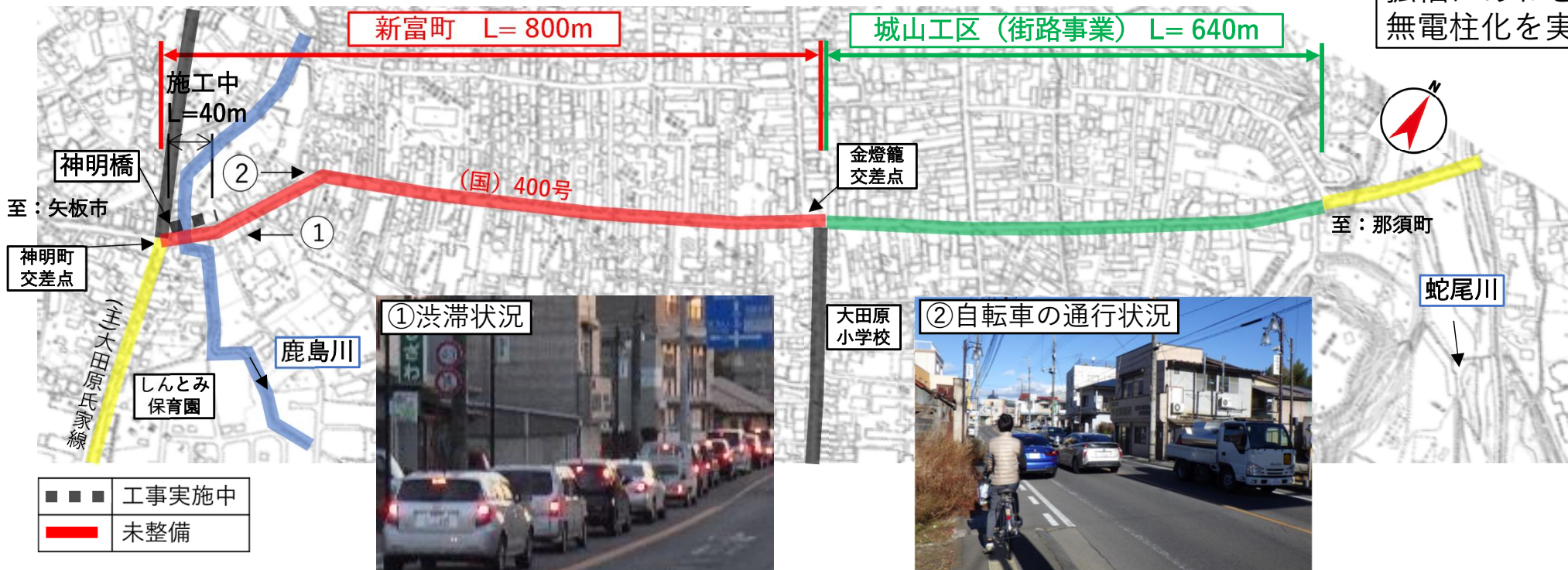


計画



拡幅にあわせて
無電柱化を実施

■平面図



II 事業の評価

【事業期間の見直し】

令和9年度 ⇒ 令和13年度（+4年）

【全体事業費の見直し】

		前回計画 (R1年度)	⇒	今回計画
	全体事業費	25.0億円	⇒	32.0億円（+7.0億円）
内	工事・測量設計費	10.0億円	⇒	14.5億円（+4.5億円）
訳	用地補償費	15.0億円	⇒	17.5億円（+2.5億円）

■工事費

① 建設資材、労務単価の高騰等による工事費の増額 +4.5億円

■用地補償費

② 用地調査の実施による補償費の精査 +2.5億円

II 事業の評価

【事業の投資効果】

1 費用対効果分析結果

	B/C	総便益(B)	総費用(C)
(1)事業全体	1.2	29億円	25億円
(2)残事業	1.7	29億円	17億円

注) B/Cの値は表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある

2 事業の整備効果等

- ・安全な通行空間の確保による交通事故の減少（過去10年間に約15件の事故が発生）
- ・広域的な交流・連携の促進と地域の産業支援
- ・無電柱化による魅力ある街並み形成と防災機能の強化

【コスト縮減等】

1 コスト縮減方策

- ・電線共同溝の整備にあたり、浅層埋設方式などの低コスト手法を採用することで、コスト縮減を図る。
- ・再生材の利用や建設発生土の公共工事間流用に努め、コスト縮減を図る。

2 代替案立案等の可能性

- ・必要な事業用地は、現時点で30%取得済みであり、工事の一部実施していることから、代替案立案は困難である。

【事業の対応方針（案）】

本計画で事業を継続する。